

【調査速報】 弥生時代後期末～古墳時代前期の集落見つかる－栗東市岩畑遺跡－

【大学連携事業 1】 インターンシップで未来の調査員を育みました

【大学連携事業 2】 オープンキャンパスで未来にときめく！

【学習支援】 「出前授業」～わくわく！ホンモノ体験～

【お知らせ】 2026 年 1 月～ 3 月

安土城考古博物館 催物案内



【調査速報】

弥生時代後期末～古墳時代前期の集落見つかる

りっとう いわはた
－栗東市岩畑遺跡－



岩畑遺跡の建物群 (写真奥中央は日向山)

(写真提供：滋賀県)

当協会では、栗東信楽線補助道路整備事業に伴って、2023・2024 年度に岩畑遺跡・林遺跡・六地蔵遺跡の発掘調査を実施しました。これらの遺跡は県南部を流れる野洲川が形成した扇状地の左岸扇頂部に位置しており、南方に所在する標高 222.9mの日向山西麓には古墳が点在しています。

調査では、岩畑遺跡で弥生時代後期末～古墳時代前期および鎌倉時代の集落跡、林遺跡で鎌倉時代の集落跡、六地蔵遺跡で古墳時代中期の集落跡がみつかりました。

このうち岩畑遺跡では、弥生時代後期末の建物のほか、古墳時代前期および鎌倉時代の建物・溝などを検出しました。

栗東市 岩畑遺跡 一弥生時代後期末～古墳時代前期の集落見つかるー

岩畑遺跡は、古墳時代から江戸時代にかけての集落遺跡として知られています。なかでも、古墳時代の竪穴建物が多くみつかり、周辺のほかの遺跡も含めて、一帯には古墳時代の大規模集落が広がっていました。

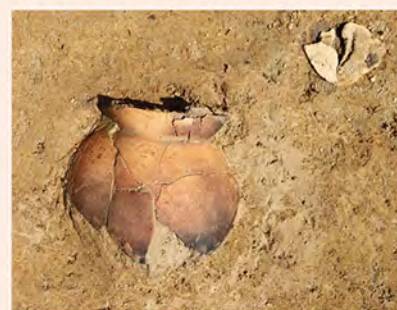
今回、岩畑遺跡では約1400㎡の範囲で発掘調査を行った結果、弥生時代後期末の竪穴建物2棟・古墳時代前期の竪穴建物5棟・鎌倉時代の掘立柱建物2棟などがみつかりました。



弥生時代後期末の円形竪穴建物



中央付近の炉



出土した土器

●見つかった竪穴建物

弥生時代後期末の竪穴建物は、平面形が円形で、その規模は直径約5mでした。一方、古墳時代前期の竪穴建物は、平面形が方形で、一辺4.5～5m程の大きさでした。ともに中央付近に炉を備えていました。



古墳時代前期の方形竪穴建物

●竪穴建物の変化

今回の調査で見つかった竪穴建物は、弥生時代後期末と古墳時代前期とで平面形が異なっていました。

県内では弥生時代後期頃から竪穴建物の平面形が、円形から方形に変わる傾向があります。

ここ岩畑遺跡でも、古墳時代前期には平面形が方形に変わり、建物構造に変化があったことがうかがえます。



どきっち



しがぶんちゃん

見てね★

SNS(X)でも発信中!

(公財)滋賀県文化財保護協会 X公式アカウントはこちらから▶

"しがぶんちゃん&どきっち"が「X」でも活躍!

発掘調査や遺跡・遺物の紹介、現地説明会をはじめ各種イベント、ちょっとマニアックなつぶやき…など、さまざまな情報を発信しているよ!

*"しがぶんちゃん&どきっち"は(公財)滋賀県文化財保護協会の公式キャラクターです。



@shigabunchan

インターンシップ実習で未来の調査員を育みました

協会 HP→



当協会は、毎年、京都橘大学文学部の地域インターンシップ実習を受け入れています。2025 年度も 8 月 18 日から 22 日にかけて、歴史遺産学科 2 回生の 3 人が来てくれました。



この実習の狙いは、将来のキャリアをイメージする機会を提供し、学生生活での課題を見つけてもらうところにあります。そのための機会として、滋賀県埋蔵文化財センターロビーでのミニ展示をお願いしました。

実習生の皆さんへの課題は、『埋蔵文化財の調査手順』について展示をすること。実習生は、調査員や作業スタッフへの取材や作業体験を通して展示を作り上げ、その解説を行いました。調査員への道には、授業以外にも学ばなければならないことがたくさんあることに気づいてくれたようです。

未来の調査員を育みつつ、学生さんのキャリアイメージ形成にも寄与できたことで、私たちのミッションもまずはクリアです。



▲出土遺物の接合作業。ベテランスタッフに取材しながらコツを習得しました。今回の実習をとおして「一つひとつの調査作業には、その土地に息づいた人々の暮らしや文化への深い敬意が込められ」ており、「遺物や遺構を『発見』するのはただの作業ではなく、過去と現在を繋ぐ大切な架け橋を築くこと」と捉えてくれたようです（実習体験記より）。→体験記は当協会ホームページも見てくださいね！



▲実習生の 3 人。左から本庄唯さん・奥田歩武さん・吉田琉凱さん。作り上げた展示を背景に充実の表情。

～実習生の声～大学でも日々授業で学んでいるところですが、課題に取り組んでみると様々な気づきや学びがありました。発掘調査、その後の整理調査から報告書刊行、そして成果の公開において、普段何気なく見ている調査現場や展示の中に、多くの知識と技術、気配りと工夫などがあり、実際に自分の目で見て、体験する重要性を改めて実感しました。

この実習で得た知識や技術、経験を、今後のキャリア形成にしっかりと活かしていきたいと思います。滋賀県文化財保護協会の皆様、誠にありがとうございました！（本庄唯さん）

オープンキャンパスで未来にときめく！



協会 HP→



今年も大学連携事業の一環として、滋賀県立大学のオープンキャンパスへの協力を行いました。2025 年は 7 月 19 日（土）・20 日（日）に開催されました。

今回は石田三成の居城として知られる彦根市佐和山城跡の出土資料を展示・解説し、高校生とその保護者の皆さんに、戦国・安土桃山時代の人々の暮らしに思いをはせていただきました。

そしてもう一つ、大切なアピールは、「大学に入学して、考古学を専攻したら、どんな学生生活や未来が待っているか」を伝えること。考古学を学ぶことの意義、埋蔵文化財に関わる仕事の魅力について紹介しました。発掘調査に関わる仕事があることに驚かれる方が多く、「就職を含めた大学入学後のイメージを持つことができた」という声も。未来を見つめるたくさんの輝く瞳が印象的でした。

当協会是这样した取り組みをとおして、今後も文化財と地域を未来へとつなぐ人材の育成に貢献していきます。



滋賀県立大学オープンキャンパスでの当協会調査員による解説の様子

滋賀県埋蔵文化財センターでは、小・中・高等学校等の教育機関や各種団体を対象に、「出前授業」を行っています。

発掘された遺跡の写真や、みつかった土器、石器、自然遺物などの資料を間近にしながら、専門職員が昔の人々の生活を解説します。屋内だけでなく、身近な遺跡や復元建物を訪れて行う屋外での授業、火起こしなどとともに学ぶ体験学習もあります。



▲大津市上田上小学校での出前授業のようす

▲近江国庁での出前授業のようす(大津市瀬田小学校)

学校の授業のお手伝い、地域の集いでのお話しなど、県内各地のさまざまな団体・内容に対応しています。

ホンモノを見たりさわったりしながらの授業は、毎回大好評。

昨年度は小学校3校、中学校1校、シニアクラブ1箇所、2025年度は小学校5校と中学校1校から依頼がありました(*2025年10月末現在)。

ホンモノとふれあう機会を、ぜひご活用ください。



▶お問い合わせ・申込先

電話 077-548-9681

FAX 077-548-9682

メール shigamaibun-center@guitar.ocn.ne.jp



当協会は、県からの委託により、県内で発掘された遺物や調査記録の整理・保管および文化財に関する普及啓発を行う「滋賀県埋蔵文化財センター」の管理運営を行っており、この業務のひとつとして収蔵品を活用した出前授業を行っています。

【お知らせ】

2026年1月～3月

安土城考古博物館 催物案内

◆博物館連続講座Ⅲ『豊臣秀長と近江』

”もしも彼が長生きしていれば、豊臣の天下は安泰だった”とも言われる豊臣秀吉の弟・秀長。秀長には、近江出身の優れた家臣がいました。

安土城考古博物館では、秀長を支えた家臣で、築城の名手と言われる藤堂高虎、有能な行政官として知られる小堀正次に焦点を当てた連続講座を開催します。

※他にもイベント盛りだくさん。詳しくは下記イベントカレンダーをご覧ください。

今年は兄の秀吉と、
ドラマで大活躍の予定じゃ。
安土の博物館ではワシを支えた家臣の話があるとな、
ぜひ聞きに來られよ！



とよともひでなが
豊臣秀長



安土城考古博物館

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場(当館)
11/29(土)～2/1(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列Ⅳ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」	無	不要	入館料	企画展示室
12/6(土)～2/1(日)	9:00～17:00	展示	でかける博物館in滋賀県立安土城考古博物館「寛弘寺古墳群が映す古墳時代」	無	不要	入館料	企画展示室
1/12(月・祝)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅲ『豊臣秀長と近江』②「秀長家臣・藤堂高虎の生涯-築城家の真相-」 講師：太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	120名	不要	500円	セミナールーム
2/14(土)～4/5(日)	9:00～17:00	展示	第71回企画展「近江-道で織りなす物語-」	無	不要	入館料	企画展示室
2/14(土)～4/5(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列Ⅴ「学芸員の自由研究 まぼろしの陶窯-比良焼・杣山焼・臨湖焼-」	無	不要	入館料	望楼下
2/14(土)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅲ『豊臣秀長と近江』③「秀長家臣・小堀正次の生涯-遠州の父の姿-」 講師：太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	120名	不要	500円	セミナールーム
2/22(日)	13:30～15:00	講座	第71回企画展関連講座①「近江は"道の国"」 講師：瓜生翠(当館学芸員)	120名	不要	500円	セミナールーム
3/8(日)	13:30～15:00	講座	第71回企画展関連講座②「(仮)「近江」を通る鳥たち」 講師：佐藤華音氏(滋賀県立琵琶湖博物館)	120名	不要	500円	セミナールーム
3/15(日)	13:30～15:00	講座	第71回企画展関連講座③「(仮)滋賀県ゆかりの画家 山元春挙」 講師：山口真由香氏(滋賀県立美術館)	120名	不要	500円	セミナールーム
3/22(日)	13:30～15:00	講座	第71回企画展関連講座④「(仮)近江の陶窯をめぐるよもやま話」 講師：鈎真一氏(滋賀県立陶芸の森)	120名	不要	500円	セミナールーム
3/29(日)	13:30～15:00	講座	第71回企画展関連講座⑤「(仮)発掘された古代官道」 講師：辻川 哲朗(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	500円	セミナールーム

*問合せ先:0748-46-2424(滋賀県立安土城考古博物館)

*入館は16:30まで。